

科目コーディネータ (科目責任者)	医学研究科教務委員長	問合せ先	医学部教務課 大学院担当					
科目コーディネータ所属	医学研究科教務委員会	連絡先	内線5512、5511/ idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp					
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	前期8回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	林 研 准教授(哲学分野) 廣瀬 清英 講師(法学分野)							
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー	
	生命倫理と医療倫理、及び医事法学に関する知識を修得することで、医療における倫理・法律上の問題を学ぶことの必要性を説明することができるようになる。						1,7	
達成目標	達成目標						対象講義	
	(1) 生命倫理の諸原則、医療者-患者関係の原則を理解することで、生命倫理の基本原則について説明できる。						(1) (2)	
	(2) 生命倫理の具体的な事例を学ぶことで、医療倫理における諸問題を列挙し、それについて説明できる。						(3) (4) (5) (6)	
	(3) 様々な事例・判例を通じて、医事法学の基礎を理解し、それについて説明できる。						(7) (8)	
資格取得等	特になし。							
成績評価方法	受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。							
特記事項	<p><履修に関する情報></p> <p>履修申請の際には事前相談に応じる。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる。</p> <p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用する。</p> <p>受講後2週間以内に「受講票」を作成し、Web Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合は、医学部教務課大学院担当まで連絡すること。</p> <p>秋入学生は、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までに「受講票」をWebclassにアップロードすること。</p>							
教科書・参考書	参考書：小泉・井上・今村・吉田編『テーマで読み解く生命倫理』（教育出版、2016）、赤林編『入門・医療倫理Ⅰ』（勁草書房、2017）、塚田敬義・前田和彦編『生命倫理・医事法』医療科学社（2015）、樋口範雄『ケース・スタディ生命倫理と法〔第2版〕』有斐閣（2012）							

●講義日程

月日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
5月7日(火)	5	(1) 生命倫理とは何か 生命倫理誕生の背景を理解することで、生命倫理を学ぶ重要性を説明することができる。	林 研 (哲学分野)	Zoom
5月14日(火)	5	(2) 患者の自己決定権 生命倫理学の事例を通じて、患者の自己決定権とは何かを説明することができる。	林 研 (哲学分野)	Zoom
5月21日(火)	5	(3) 医療倫理 1 安楽死・尊厳死の諸事例を学ぶことで、安楽死の倫理的問題点を説明できる。	林 研 (哲学分野)	Zoom
5月28日(火)	5	(4) 医療倫理 2 臓器移植の歴史や現状を理解することで、移植医療の倫理的問題点を説明できる。	林 研 (哲学分野)	Zoom
6月4日(火)	5	(5) 医療倫理 3 進展する生殖補助技術と従来の家族観との間にあるギャップを理解することで、生殖補助医療の倫理的問題点を説明できる。	林 研 (哲学分野)	Zoom
6月11日(火)	5	(6) 医療倫理 4 優生保護法や母体保護法の理解を通じて、人工妊娠中絶の倫理的問題点を説明できる。	林 研 (哲学分野)	Zoom
6月18日(火)	5	(7) 医事法学の基礎 1 医事法の成立過程を学ぶことで、医事法学とは何かを説明できる。	廣瀬清英 (法学分野)	Zoom
6月25日(火)	5	(8) 医事法学の基礎 2 諸事例を通じて、医事法学の重要事項・概念を説明できる。	廣瀬清英 (法学分野)	Zoom